

令和4年度

# 事業計画書

(抜粋)

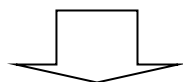
社会福祉法人 楽友会

## 経営理念

高齢者福祉施設の経営主体である社会福祉法人楽友会は、利用者はもとより地域社会における福祉の充実に貢献するために、適正かつ活力ある経営に努めます。

また、楽友会は高い公共性と倫理性を旨として、利用者の負託に応えるとともに、地域社会における福祉推進の主導的役割を果たしていきます。

1. 楽友会は、すべての人の基本的人権を尊重します。
2. 楽友会は、利用者に「安全」と「安心」を提供します。
3. 楽友会は、利用者本位の施設経営を行います。
4. 楽友会は、職員の資質の向上に努めます。
5. 楽友会は、地域社会の福祉の充実増進に努めます。
6. 楽友会は、地域に開かれた身近な施設経営に努めます。



## 将来イメージと将来目標（長期ビジョン2015）

楽友会は、元気な時も、見守りが必要になっても、看取りの最期の時まで、住み慣れた家、住み慣れた地域で安心して生活できるように、福祉・介護・予防・生活支援・住まい・医療・看護・リハビリの相互連携体制が整った多摩市の総合的な高齢者地域包括ケアの一大拠点をめざしていきます。

### 将来イメージ

介護や福祉の「総合商社」として確固たる拠点を作り、地域においては地域の住民の暮らしに役立つ介護や福祉のコンビニエンスストア的な存在になる。

### 法人としての目標

- ・ 地域社会にとって頼りになり、地域住民に身近に感じてもらえる法人
- ・ 多摩地域における高齢者福祉サービスをリードする法人

## 利用者権利宣言

社会福祉法人楽友会は、提供する全てのサービス利用者の権利を尊重いたします。

利用者の皆様は、

- ・ 基本的人権が尊重されます。
- ・ 生活者として「安全・安心」が保障されます。
- ・ 自己決定権が尊重されます。
- ・ プライバシーが尊重されます。
- ・ 財産権が尊重されます。
- ・ 知る権利が尊重されます。
- ・ 職員による専門的・高品質のサービスを受ける権利を有します。
- ・ 意見・質問・苦情を表明する権利を有します。

## I. 基本方針

### 令和4年度 基本方針

- 【 サービス 】 引き続き新型コロナウイルス等感染症対策に取り組み、安定的に必要なサービスを安心とともに提供します。
- 【 人材育成 】 職員のスキルの向上や資格取得への支援とともに、福祉・介護実習生の受け入れに努め、次代を担う人材の育成に取り組みます。
- 【 地域・社会 】 地域福祉の充実増進にむけて、地域住民や関係機関との協働・連携を深め、地域の課題解決に取り組みます。

東京都が毎年発表している「敬老の日にちなんだ東京都の高齢者人口（推計）」の概要では、令和3年9月15日時点では東京都の高齢者人口は311万6千人で過去最高を更新しました。高齢者人口は今後も増加することが予想されており、それに伴い高齢者福祉・介護サービスのニーズも高まっていくことが予想されます。

一方、昨年、令和3年度も新型コロナウイルスは猛威を振るい、東京では延べ感染者数が100万人を超えました。特に感染拡大の第6波となった令和4年1月からの感染者数の増加は過去に例を見ないものであり、都内でも多くの高齢者施設で集団感染が発生しました。そして、急激な感染拡大は入院病床を逼迫し、どの地域でも入院が困難となるなか、当法人の特別養護老人ホーム白楽荘でも感染が広がりました。施設内療養という厳しい状況に対して、保健所をはじめ多くの方にご協力をいただきました。また、地域の方にもご心配をおかけしました。約一月余りの間、多くの方にご支援ご協力をいただきましたことに改めてお礼を申し上げます。

現在、高齢者福祉介護サービスの現場では新型コロナウイルス感染症対策をはじめ様々な課題が山積しています。少子高齢化による生産年齢人口の減少は、多くの福祉介護施設に人手不足という慢性的な課題をもたらしています。今後も安定的に必要なサービスを提供するためには人材の確保が不可欠です。また、地域全体で高齢化が進む多摩ニュータウンは高齢者の安心安全な生活を守るためにも地域ぐるみの支援体制が求められています。

そこで、令和4年度事業計画では、いつでも安心してサービスを利用していただけられることを目指して3つの基本方針を定めました。これら基本方針を念頭に置き、令和4年度も引き続き地域福祉の充実増進に取り組んでまいります。

社会福祉法人 楽友会

## Ⅱ. 法人の主要な取り組み

### 1. 重点取組項目

項 目	取 組 み
人事制度の見直し及び改編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 等級制度の見直しを図り、新たなキャリアパス体系に基づく給与制度や人事考課制度の構築に取り組む。制度の体系をまとめ職員説明会を開催する。</li> </ul>
山王下施設大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備更新及びリフォームプランの見直しと実施設計業務に取り組み、東京都への補助金申請を行う。修繕工事は令和5年度後期に施工を予定する。</li> </ul>
健全な法人経営を目的とする経営管理本部の体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業運営に関するコンプライアンスの遵守と倫理観や社会的規範を考慮した事業所支援に取り組む。</li> <li>・ 補助金申請の担当者を配置し、手続きの迅速化を目指す。</li> <li>・ コスト削減のための担当者を配置し、事業所間の横断的な管理体制を目指す。</li> <li>・ 人材確保のための募集活動の強化に取り組む。</li> </ul>
コロナ感染症対策と事業所支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染症の関連商品や衛生用品の安定的な確保と補助金などの経費に関する総合支援に取り組む。</li> </ul>

### 2. 第2期経営計画への対応

項 目	取 組 み	新規・継続
人事制度の見直し及び改編	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ キャリアパス体系の整備とともに給与制度、人事考課制度の改編に取り組む。</li> </ul>	第1期計画から継続
山王下施設大規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 令和4年度は具体的な設計業務、東京都補助金申請業務に取り組む。</li> </ul>	第1期計画から継続

### 3. 主要な施設整備

項 目	目 的	金 額	財 源
白楽荘 特殊浴槽購入	6階特殊浴槽の更新（令和3年度補助金活用）	3,000千円	施設整備積立金

白楽荘 特殊浴槽購入	5階特殊浴槽の更新	6,000千円	施設整備積立金
白楽荘 施設内 PHS アンテナ改修	電波法改正に伴う山王下施設内の設備更新	2,000千円	施設整備積立金

#### 4. 運営する事業

種別	施設名	利用者定員	職員数（うち非正職員）
特別養護老人ホーム	白楽荘	150	103 (39)
短期入所生活介護	白楽荘	10	4 (2)
軽費老人ホーム	偕楽荘	50	13 (3)
通所介護	白楽荘デイサービスえがお	35(1日)	26 (20)
認知症対応型通所介護	白楽荘デイサービスほのぼの	12(1日)	
認知症対応型通所介護	ほのぼの堀之内	12(1日)	12 (9)
訪問介護	白楽荘訪問介護		14 (13)
居宅介護支援	白楽荘居宅介護支援事業所		3
居宅介護支援	白楽荘居宅介護支援事業所 とよがおか		3
地域包括支援センター	多摩市多摩センター地域包括支援センター		7 (1)
地域包括支援センター	八王子市高齢者あんしん相談センター由木東		8 (1)
東京都介護員養成研修	介護職員初任者研修	12	
		職員数 合計	正職員 105 非正職員 88 計 193

### Ⅲ. 施設・事業所の主要な取り組み

#### 1. 入所サービス

##### i. 特別養護老人ホーム

提供するサービス	原則として要介護3以上の認定を受ける要介護高齢者に入浴、排せつ、食事等の介護、相談及び援助、機能訓練等の日常生活全般における介護サービスを提供する。
----------	--

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	特別養護老人ホーム 白楽荘
定員	150名
基本方針	利用者が安心して毎日を過ごせるよう各部門の職員が専門性を活かし協働して支援に取り組む。また、行政、医療機関、在宅支援事業所等の関係機関と積極的に連携し、高齢者福祉のセーフティネットとしての役割を果たす。

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 利用率目標・収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	95%	94.2%	95%	95.1%	95%
収益(千円)	673,100	680,584	678,000	678,570	678,000
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染対策に取り組んでいたが、令和4年2月に7階フロアでクラスターが発生。保健所や介護保険課と連携し、終息に向けて対応した。</li> <li>業務効率化に向けて介護ソフトの入れ替えを行った。</li> <li>会議の開催方法などを工夫し、新規入居までの空床期間を短縮した。</li> <li>入院が可能な新たな協力医療機関を得た。</li> </ul>				

<p>取り組み内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナウイルス等の感染症拡大防止。</li> <li>・ 入居待機者の安定的確保。</li> <li>・ 介護職員の人材確保。</li> </ul>
---------------	---

● **提供サービスの充実・向上**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用者の生活の質の向上を目指し、個別性を重視したケアプランの作成及びケアの提供を行う。</li> <li>・ 適切な感染症対策を講じ、利用者の生活の質を意識した安全・安心なサービスの提供を行う。</li> <li>・ 利用者が快適に過ごせる生活環境を整備する。</li> </ul>
--

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 組織機能を強化し情報の共有に取り組み、職員の意見が運営に反映できる体制を強化する。</li> <li>・ 職員の労働環境の整備に向けた検討。</li> <li>・ 専門技術の向上及び知識習得につながる階層別研修などの研修機会を提供する。</li> </ul>
--

● **地域にむけて**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 虐待等による緊急ケースを適宜受け入れ、高齢者福祉のセーフティネットとして地域からの信頼に応える。</li> <li>・ 施設職員による施設サービスのPR活動と積極的な地域活動の推進。</li> </ul>
---

## ii. 軽費老人ホーム

提供するサービス	原則として60歳以上の介護を要しない高齢者の入居施設として、高齢者が自立した生活が送れるよう、食事、入浴機会の提供、日常生活に必要な支援を提供する。また、必要に応じて介護保険サービスの利用について支援する。
----------	---

### 【 施設事業所 】

施設事業所名	軽費老人ホームA型 偕楽荘
定員	50名
基本方針	自立型の高齢者福祉施設として、施設入居者及び地域高齢者の健康寿命増進と介護予防に取り組み、高齢者の明るくいきいきした生活の実現に取り組む。

### 【 重点取組項目 】

#### ● 利用率目標・収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	100%	100%	100%	100%	100%
収益(千円)	134,000	138,729	134,000	137,000	137,000
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>待機者は安定して確保できているが、新たな申込者は減っている。</li> <li>感染対策に取り組みつつ入居相談や施設見学に応じた。</li> <li>利用者の高齢化に伴う自立度の低下があり、東京都補助金の対象加算を算定している。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新たな申込者の確保にむけて偕楽荘のPR活動を継続的に行う。</li> <li>東京都運営補助金における加算を継続して取得していく。</li> </ul>				

#### ● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"> <li>健康に偕楽荘での生活を長く続けていけるよう、フレイル予防、介護予防に取り組む。</li> <li>安心して生活していくため、日常生活におけるリスクの低減を図れるよう努める。</li> <li>年間を通じて行事やイベントを計画し、楽しみや生きがいを感じられる施設での生活を支援する。</li> </ul>
--



● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ 軽費老人ホーム職員として高齢者支援について幅広く知識を身につけるために様々な研修を通し研鑽に努める。

● **地域にむけて**

- ・ 地域高齢者に向けて健康推進のために介護予防の取り組みを行う。
- ・ 利用者が地域社会とのつながりを感じるよう、地域の一員として活動する取り組みを行う。
- ・ 施設が地域との関係を深めていくために、地域住民や関係機関にむけ、施設のPR活動を実施する。

## 2. 在宅サービス

### i. 通所介護

提供するサービス	要介護状態（要支援も含む）になっても、自立した生活がその居宅で営むことが出来るよう、日常生活の支援や必要な機能訓練、レクリエーション活動など行う。
----------	---

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘デイサービスえがお
定員（1日）	30名
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>個々の利用者の意見や要望を取り入れた通所介護の在り方を基本に、「効果的な認知症療法」・「楽しい機能訓練」・「多彩な趣味活動」の3つを柱に、利用者が安心して地域で生活出来るように支援する。また、家族の介護負担が軽減できるよう、家族支援と地域活動への取り組みを行う。</li> </ul>

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 利用率目標・収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	73.5%	58.9%	63.0%	66.0%	70.0%
収益（千円）	85,400	69,936	71,500	69,060	73,500
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染症の影響を受けた一昨年度から、感染症対策の見直しを行い昨年度は休止せずに事業を継続した。</li> <li>定員数の変更や人員配置の見直しを行い収益を大幅に改善することが出来た。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染症対策を講じた安定的なサービスの提供</li> <li>職種間の役割を超えた連携</li> <li>収支改善への取り組み</li> <li>介護保険改正に対応する専門委員会の設置</li> </ul>				

### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 小集団の効果を活かした「生活リハビリテーション」を充実させ、利用者の自立支援に取り組む。
- ・ コロナ感染症対策を講じたレクリエーションなどのプログラムを充実。

### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 正職員の役割を見直し、職種に捉われずサービス全体の遂行能力を向上する。
- ・ 全職員の意見が反映される職場環境の整備、サービスの改善と業務の効率化に取り組む。
- ・ 研修制度を充実させ、支援の技術的な向上を目指す

### ● 地域にむけて

- ・ 地域の小中学校や教職課程の介護体験を受入れる。コロナ禍で難しい場合の対応も教育委員会や東社協と協議を行う。
- ・ コロナ禍でも可能なWEBでのボランティアや地域との交流を積極的に行う。

## ii. 認知症対応型通所介護

提供するサービス	認知症と診断がされた利用者に対して、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、入浴、排せつ、食事等の介護や生活等に関する相談、健康状態の確認、機能訓練（リハビリテーション）等を提供する。
----------	--

### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘デイサービスセンターほのぼの
定員（1日）	12名
基本方針	利用者が、住み慣れた地域で安心して継続的に生活できるよう、認知症に関する専門的なケアと自立支援に向けた取り組みを行う。また、認知症になっても住みやすい街づくりを目指し、関係機関と連携し地域に認知症への支援が根付く活動に取り組んでいく。

### 【 重点取組項目 】

#### ● 利用率目標・収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	実績
利用率	80.0%	68.2%	80.0%	67.0%	80.0%
収益（千円）	42,176	37,225	42,200	35,900	42,060
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍でも認知症利用者のサービス利用頻度は高く、認知症対応型通所介護の社会的な必要性を認識した1年であった。</li> <li>・ 感染対策を講じて事業を継続させることを最重要課題として、常に新しい感染対策情報を取り入れ、日々の感染対策やプログラムの修正などを実施してきた。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染症対策を講じた安定的なサービスの提供</li> <li>・ 職種間の役割を超えた連携</li> <li>・ 感染症対策を講じた上で新たな認知症プログラムの構築</li> <li>・ 介護保険改正に対応する専門委員会の創設</li> </ul>				

● **提供サービスの充実・向上**

- ・ 在宅生活の継続を目的とした効果的な生活リハビリテーションを充実。
- ・ コロナ感染症対策を講じた中でのレクリエーションなどのプログラムの充実。
- ・ 認知症支援に特化したサービスの充実。

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ 正職員の役割を見直し、職種だけに捉われることのないサービス全体の遂行能力を向上する。
- ・ 全職員の意見が反映される環境の構築とそれに伴うサービスの改善と業務の効率化を行う。
- ・ 研修制度を充実させ、技術的な支援の向上を目指す。

● **地域にむけて**

- ・ 地域の小中学校や教職課程の介護体験を受入れる。コロナ禍で難しい場合の対応も教育委員会や東社協とも協議を行う。
- ・ コロナ禍でも可能なWEBでのボランティアや地域との交流を積極的に行う。

【 **施設事業所** 】

施設事業所名	認知症対応型通所介護 ほのぼの堀之内
定員(1日)	12名
基本方針	住み慣れた地域で家族と可能な限り在宅で生活出来るよう、認知症ケアに関する専門的なサービスを提供する。また、認知症になっても住みやすい街づくりを目指すために、関係機関と連携し地域に認知症への支援が根付く働きかけを行う。

【 **重点取組項目** 】

● **利用率目標・収益目標**

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標

利用率	84.0%	81.5%	84.0%	77.0%	83.0%
収益（千円）	44,670	41,879	44,200	41,050	42,350
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 家族や担当ケアマネジャーとの連携を密にした成果もあり、コロナ感染症の影響を受けずに事業の継続が出来た。</li> <li>・ コロナ禍でも可能な認知症プログラムを年間通して実施し、利用者や家族から一定の評価を得た。</li> <li>・ 収支については、年度途中から人員配置を見直し翌年度以降も改善できる体制を確保した。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ感染症対策を講じて安定的なサービスを提供する。</li> <li>・ 管理者の交代に伴い、正職員の配置や臨時職員の契約内容の見直しを行う。</li> <li>・ 介護保険改正に対応する専門委員会の創設</li> </ul>				

#### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ コロナ感染症対策を講じて、認知症利用者支援を目的としたプログラムを実践する。
- ・ 地域に密着し利用者や家族との密接な関係性を活かし、自宅での生活を継続するための個別支援を実践する。

#### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 職員会議や日々のミーティングをとおして、個々の職員の意見が反映される体制を整備する。
- ・ 認知症ケアや介護技術などの向上を目的とした研修制度を整える。

#### ● 地域にむけて

- ・ 運営推進会議の開催や認知症家族会の参加をとおして、地域に対する認知症の理解を深める取り組みを行う。
- ・ 小中学校の職場体験や実習生を積極的に受入れる。
- ・ コロナ禍での地域交流の方法を見直し、感染対策を講じて地域貢献を目指す。

### iii. 訪問介護

提供するサービス	訪問介護職員が利用者の自宅を訪問し、排泄・入浴などの身体介護や掃除・洗濯・調理などの家事面の生活援助、通院などの外出支援などを行う。
----------	--

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘訪問介護事業所
基本方針	自宅で生活されている利用者が、要介護・要支援状態となっても、出来る限り自立した日常生活が送れるよう、生活全般のサポートに取り組む。

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
収益（千円）	12,000	14,200	14,200	14,650	14,600
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問時の感染症のリスクに対応するため、毎月の会議を通じての感染対策を講じてきた。また、利用者や家族だけでなく担当ケアマネジャーとも連携を取り、利用者の体調把握や感染状況の情報収集を都度行い、サービス提供責任者を中心に感染対策を図った。</li> <li>訪問時に1対1で対峙する登録ヘルパーへのカスタマーハラスメントについて、実際に顧問弁護士に相談する案件が生じた。直ちに法人組織で対応する方法を取り、今後のハラスメント対策に活かすことが出来た。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>訪問時のコロナ感染対策を行い、濃厚接触を未然に防ぐ対策を取りながら継続した事業運営を行う。</li> <li>登録ヘルパー職員の確保と質の高いサービス提供に取り組み収支を改善していく。</li> <li>介護保険改正に対応する専門委員会の創設</li> </ul>				

### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 定期的な会議の開催や日々の業務連絡などで、事業所と登録ヘルパーとの連携を強化し安定したサービス提供を行う。
- ・ 登録ヘルパー同士の連携を意図的に行い、登録ヘルパーの孤立感を未然に防止する。

### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 計画的に毎月の登録ヘルパー研修を実施する。
- ・ 登録ヘルパーの交流を目的とした会議などを開催し、訪問時の支援方法の相談や精神的な疲弊感を未然に防ぐ。

### ● 地域にむけて

- ・ コロナ禍で実施できていない専門学校の在宅実習に対し、昨年度と同様に講義形式の実習に対応する方法を検討する。
- ・ 関係機関や他の事業所との交流を図り、白楽荘訪問介護事業所のPRに取り組む



#### iv. 短期入所生活介護

提供するサービス	要支援、要介護認定を受けた在宅で生活している高齢者を短期間施設に受け入れ入浴や食事などの日常生活の支援を行う。
----------	---

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	特別養護老人ホーム 白楽荘
定員	10名（他 特養空床利用10床）
基本方針	利用者が地域の中で相互に社会的関係を築きながら、住み慣れた自宅での生活を継続できるように、利用者の孤立感の解消や心身機能の維持回復、家族の介護負担の軽減を図る。

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 利用率目標・収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
利用率	100%	103.7%	100%	98%	100%
収益（千円）	45,100	46,755	46,000	43,236	46,000
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設内への感染症の持ち込みがないように、利用時及び利用中の体調の観察を行いながらサービスを提供した。</li> <li>居宅介護支援事業所及び地域包括支援センターと連携を図り、緊急ケースの受け入れにも前向きに取り組んだ。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>新規および継続利用者の安定的確保。</li> <li>適切な感染症対策。</li> <li>居宅介護支援事業所・地域包括支援センターとの連携強化。</li> </ul>				

##### ● 提供サービスの充実・向上

<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅生活の継続を目指した、利用者個々の生活を意識した支援を行う。</li> <li>適切な感染症対策を講じて、施設利用者・職員との交流を図る。</li> </ul>
---

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ 組織機能を強化し、情報の共有と職員の意見が運営に反映できる体制を強化する。
- ・ 職員の労働環境の整備に向けた検討。
- ・ 専門技術の向上及び知識習得につながる階層別研修などの研修機会を提供する。

● **地域にむけて**

- ・ 虐待等も含む緊急ケースを積極的に受け入れ、高齢者福祉のセーフティーネットとして、地域からの信頼に応える。

## v. 居宅介護支援

提供するサービス	介護を必要とされる方が、自宅で適切にサービスを利用できるように、ケアマネジャーが心身の状況や生活環境、本人・家族の希望等に沿ってケアプランを作成し、ケアプランに位置づけたサービスを提供する事業所等との連絡・調整などを行う。
----------	---

### 【 施設事業所 】

施設事業所名	白楽荘居宅介護支援事業所
基本方針	在宅の利用者が適切に介護サービスを受けられるよう、介護支援専門員が居宅サービス計画書の作成を行い、自立した生活が送れるよう支援していく。

### 【 重点取組項目 】

#### ● 収益目標

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
収益（千円）	18,650	17,356	20,150	19,190	17,800
前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初は4名体制でスタートしたが、職員の異動もあり年度途中から3名体制で事業を継続している。その結果、特定事業所加算の算定も(Ⅱ)から(Ⅲ)に変更するなど、予算より下回る収入となった。</li> <li>利用者の重度化により入院や入居が重なり、支援困難ケースも増えており、対応に多大な時間を要す案件が増えている。</li> </ul>				
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ禍においては、地域やサービス事業所の感染状況を把握し、担当利用者やサービス事業所だけでなく市中感染の蔓延予防にも努める。</li> <li>利用登録件数や実績件数、ケース内容について事業所内で共有し、新規依頼の受入れ可能件数などを常時把握する。</li> <li>令和3年度の介護保険改正に対応するため、在宅サービスセンター内に専門の委員会を創設する。</li> </ul>				

● **提供サービスの充実・向上**

- ・ 事業所内で利用者情報やケース内容の把握を行い、適切なケアマネジメントに努める。
- ・ 適切なケアプラン作成によるケアマネジメントの充実。
- ・ 同一法人の居宅とよがおかとの連携を強化し互いに支援できる体制を構築する。

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ 事例検討会や勉強会への参加し、専門的な知識の習得に努める。
- ・ 職員個々の研修計画に基づき、WEB研修を活用し関係機関等が開催する研修に参加する。

● **地域にむけて**

- ・ 関係機関や地域包括支援センターとの情報交換や連携を積極的に行い、地域活動の情報を収集し社会資源の活用に繋げる。
- ・ コロナ禍で地域のイベントが軒並み中止となったが、地域で「顔」の見える関係性作りを引き続き検討していく。

【 **施設事業所** 】

施設事業所名	白楽荘居宅介護支援事業所とよがおか
基本方針	在宅のご利用者が適切に介護サービスを受けられるよう、介護支援専門員が居宅サービス計画書の作成を行い、自立した生活が送れるよう支援していく。

【 **重点取組項目** 】

● **収益目標**

	令和2年度		令和3年度		令和4年度
	目標	実績	目標	見込み	目標
収益（千円）	17,550	14,210	15,900	17,020	17,050

前年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新規の紹介があっても実績に結びつかないケースや困難とされるケースが例年より増えてきており、1つのケースに多くの時間を費やすことが増えている。</li> <li>・ 「とよよん」の繋がりは、多摩社協や中部包括支援センター以外にも商店街や地域の団体なども含め、多くの関係性を構築出来ている。</li> </ul>
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コロナ禍においては、地域やサービス事業所の感染状況の把握を行い、利用者やサービス事業所だけでなく市中感染の蔓延予防にも努める。</li> <li>・ ケアマネジャー1人当たりの登録、実績件数の把握と居宅介護計画書の点検を事業所内で実施し、安定した事業運営に努める。</li> <li>・ 令和3年度の介護保険改正に対応するため、在宅サービスセンター内に専門の委員会を創設する。</li> </ul>

#### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ 各ケアマネジャーのケース内容の情報共有を行い、適切な支援とプランの作成が出来るようチームケアに重点を置いたサービスの提供に努める。
- ・ 白楽荘居宅と常に連携を取り、法人内の2か所の居宅介護支援事業所双方を活かす方策を取る。

#### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 関係機関や地域の事業所間で実施される事例検討会や勉強会に参加し、ケアマネジメント技術の向上に努める。
- ・ 法人運営に対して、職員の意見が反映されるよう合同の居宅介護支援事業所の会議を定期的を開催する。

#### ● 地域にむけて

- ・ 「とよよん」の運営に関して、多摩社協や商店街の主催のイベントへの参加だけでなく、法人及び居宅とよがおかが主催するイベントの企画を立てる。
- ・ 「とよよん」を通じて、地域包括支援センターや地域住民との交流を図る。

### 3. 受託事業

#### i. 地域包括支援センター

提供するサービス	市町村が設置主体となり、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員等を配置して、住民の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行う。
----------	--

#### 【 施設事業所 】

施設事業所名	多摩市多摩センター地域包括支援センター
基本方針	<p>団塊の世代が75歳以上となる令和7（2025）年を目途に、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケア体制の構築に向けて、以下の方針を掲げる。</p> <p>I 総合相談支援業務の総合的实施</p> <p>II 権利擁護業務の実施、虐待防止・消費者被害防止</p> <p>III 介護予防ケアマネジメント業務（第1号介護予防支援事業）の実施</p> <p>IV 包括的・継続的ケアマネジメント業務、地域包括ケアシステムの構築</p> <p>V 認知症高齢者への支援</p>

#### 【 重点取組項目 】

##### ● 委託費・収益予算

	令和2年度実績	令和3年度見込み	令和4年度予算
委託費	38,400 千円	38,400 千円	38,400 千円
介護予防支援等収益	13,472 千円	16,000 千円	12,000 千円
取組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護予防支援費・介護予防ケアマネジメント費の安定的確保。</li> <li>・ 人件費支出の適正化。</li> <li>・ 事業費支出の適正化。</li> <li>・ 事務費支出の適正化。</li> </ul>		

● **提供サービスの充実・向上**

- ・ 自立支援型ケアマネジメント能力の向上。
- ・ 「総合相談支援業務」をはじめとした業務遂行能力の向上。

● **人材育成・やりがい・はたらきがい**

- ・ 職員個々の業務遂行能力の向上。
- ・ 職務等から発生するストレスの軽減。

● **市の実施方針への取り組み**

- ・ 地域特性・課題や市民ニーズの把握、社会資源の把握。
- ・ 関係機関（介護サービス事業者、医療機関等）とのネットワーク構築。
- ・ 権利擁護関連業務への対応および権利侵害の防止・制度活用のための普及啓発活動の実施。
- ・ 第1号介護予防支援事業の適切な実施。
- ・ 介護支援専門員に対する支援・助言の実施。
- ・ 地域ケア会議（個別ケース、地域課題）の開催。
- ・ 認知症高齢者への支援、疾患や対応等の正しい理解についての普及啓発活動の実施。

**【施設事業所】**

施設事業所名	八王子市高齢者あんしん相談センター由木東
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八王子市高齢者計画・第8期介護保険事業計画の基本理念「いつまでも『望む生活』を送ることができる生涯現役（年齢を重ねても意欲を失わず、その人らしい生き活きとした生活が送れることであり、何歳になってもひとは尊いという視点にたった考え方）のまち八王子市」を市や関係機関と連携して進める。</li> <li>・ 総合相談業務、権利擁護事業、包括的継続的ケアマネジメント支援業務、地域ケア会議、第一号介護予防支援事業、在宅医療・介護連携の推進、認知症施策の推進、生活支援体制の整備、介護予防普及啓発事業を、公共性・地域性・協働性の視点を持って実施する。</li> </ul>

## 【 重点取組項目 】

### ● 委託費・収益予算

	令和2年度実績	令和3年度見込み	令和4年度予算
委託費	43,622 千円	47,350 千円	47,350 千円
介護予防支援等収益	4,290 千円	4,300 千円	4,300 千円
取り組み内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ センター職員の確保及び定着。</li> <li>・ 介護予防支援費、介護予防ケアマネジメント費、認定調査費、実習費の確保。</li> <li>・ 事業費、事務費の適正化。</li> </ul>		

### ● 提供サービスの充実・向上

- ・ センター職員の支援等実践力の向上。
- ・ 支援力向上のためのチームアプローチの遂行。
- ・ 多様なケースに対応するために積極的な他機関との連携。
- ・ 即時即応ができる緊急時対応の充実。

### ● 人材育成・やりがい・はたらきがい

- ・ 職員個々の専門職としての資質向上。
- ・ 主体的な講座やイベントの開催による企画力の向上。
- ・ 安定して継続的に取り組める業務マネジメント力の向上。

### ● 市の実施方針への取り組み

- ・ 地域高齢者の自立支援、重度化防止。
- ・ 関係部署、関係機関との連携強化。
- ・ 認知症当事者や家族への支援、地域との共生と認知症予防
- ・ 地域包括ケアシステム充実にむけた社会資源の開発や地域づくり。
- ・ 地域の支援力向上にむけた包括的・継続的ケアマネジメント支援
- ・ 虐待防止や対応、高齢者個々の権利擁護の推進
- ・ 高齢者のICT活用の推進